

対象学年: 第2学年以上

領域・「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」

1. 作成の趣旨

「話すこと」の領域においては、即興で質問に答えたり、スピーチ等のまとまった内容を英語で話したりする言語活動を継続的・計画的に取り入れることが重要であることから本問題は、「話すこと」のパフォーマンス課題の一例として作成しました。

【関連する学習指導要領の内容】

- 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、お互いに会話を継続する活動。 [話すこと(やり取り)ア]
- 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 [話すこと(発表)イ]

2. 活用場面等(例)

例【学期末等のパフォーマンス課題として】(大問1、2を分けて他学年で実施することも可)

〈New Horizon2 第2学年7月頃〉

〈Sunshine2 第2学年7月頃〉

〈Here We Go! 2 第2学年10月頃〉

【留意事項】

- 音声について: ALTや英語担当教員の読み上げ、または音声データを活用
- 英文や設定時間等: 各学校の実態等に応じて、変更することも可能

【活用後について】

- 既習表現の活用に課題があった場合は、必要な語彙や表現をパターンプラクティス等で十分に練習するなど、確実な定着の場を確保した後、再度練習した語彙や表現を活用する場を設定しましょう。
- 話した内容(解答)について「書く」活動を行うことで、正確な英語表現であるか、またテーマに沿ったまとまりのある内容となっているかを確認するなどして、基礎的・基本的事項の確実な定着を図りましょう。

3. 「話すこと[発表]」の授業の充実に向けて

○生徒がスピーチをする目的を明確にした上で、聞き手に配慮したスピーチを行うことができるように支援しましょう。

【 Second try 】

天草に初めて来るALTの先生が、おすすめの場所を知りたいと言っているな...

【 First try 】

There are a lot of beautiful beaches. I like fishing.
I go swimming.
I like Amakusa very much.
I like see food.
I can watch Dolphins.

中間指導のポイント(例)

【内容面の指導】

・伝える内容に工夫が見られない場合→「伝えたい事実や考えなどの順番」「話のテーマに沿った展開」という視点で、ペアやグループで再度考える場面を設定する。

順番、まとめ、問いかけ etc.

私がすすみたい天草のビーチの良さを分かりやすく伝える内容になっているかな? 伝える順番はどうか? 興味をもって聞いてもらうにはどうしたらよいか?

※語彙や文法に誤りなど言語面の指導が必要な場合は、正しい適切な表現を確認し、活用できるまで練習する時間を適宜設定する。

I'll talk about Amakusa.
There are a lot of beautiful beaches.
The most famous beach is *Mogushi*.
Do you like swimming?
You can see beautiful fish when you swim in the sea.